

令和2年度第1回七尾市総合教育会議 議事録

【日時】 令和2年11月26日（火） 16時から17時まで

【場所】 七尾市役所5階 災害対策本部室

【構成員】 七尾市長 茶谷 義隆、七尾市教育委員会教育長 黒崎 直人
教育委員会教育長職務代理者 寺岡 卓子、
教育委員会委員 大森 重宜、石川 武志、播摩 正義

【事務局ほか職員】

総務部長 白田 剛、教育部長 楠 利勝、
総務部次長兼企画財政課長 新野 学、教育総務課長 松村 和浩、
学校教育課長 山原 真吾、スポーツ・文化課長 松田 直樹、
企画財政課課長補佐 亀山 哲也、教育総務課課長補佐 堀口 嘉久、
企画財政課主幹 竹下 貴紀

【議事】

- 1 開会
- 2 協議 令和3年度に向けた教育行政の諸課題について
- 3 閉会

【議事の経過】

1 開会

新野次長兼企画財政課長

ただいまから、令和2年度第1回総合教育会議を開会いたします。

茶谷市長

委員の皆様方からの貴重なご意見をいただき、施策の方向性を共有し当市の教育行政がよりよい方向に進んでいくための有意義な機会にしたいと思いますので、よろしくをお願いします。

2 協議

令和3年度に向けた教育行政の諸課題について・・・楠教育部長説明

播摩委員

・市長の公約である、学校給食の無償化の財源については、どのように考えているのか。昨年まで行政サービスコーナー廃止による人件費削減などを行ってきた中で、財源をどう確保していくのか。

茶谷市長

- ・子育て世代の負担軽減を考えている中で、それが学校給食の無償化が良いのか他の施策がいいのか、色々なところから意見を聞いたうえで取り組んでいきたい。
- ・直ちに学校給食を無償化するというわけではない。

寺岡委員

- ・市長には学校現場を是非見ていただきたい。
- ・七尾に住んで良かったと思えるような取り組み、七尾を知るためのふるさと教育をすることで、七尾を好きな子どもたちを育てることが原点なのかと思う。
- ・幼保園、小学校、中学校で連携をし、一貫して七尾で子どもを育てていきたい。
- ・七尾には宝がたくさんあるのに、PRする力が弱いと感じる。そちらの方にも力を入れていただきたい。

茶谷市長

- ・自分たちが子どもの頃は地元の良さを学ぶ機会があまり無かった。子どものうちから七尾の魅力を学んでいくことによって、地元愛をしっかりと伝えていく必要がある。
- ・ふるさと教育を通して、今後ますます七尾が大好きだという子供が増えていくように願っている。
- ・学校の統廃合によって地元から離れた学校にいったりすると、どうしても地域への愛着が薄れてしまうのかなと思う。地元を守るためには、地域の祭りや行事などにしっかり取り組み、その中に子どもたちが入っていくことが大事だと思う。私自身も各地域に足を運び、そういうことを訴えていけたらと考えている。
- ・各学校に顔を出すこともやっていきたい。

石川委員

- ・ICTを活用した学校教育の更なる充実について、時代についていけるよう、機械音痴を作らないような取り組みを行っていただきたい。
- ・昔は仕事を遅くまで頑張る人が評価されていたが、今は様々なソフトなどを活用して、迅速に仕事を片付ける人の方が評価される時代。小さい頃からICTに慣れるということが大事だと思う。
- ・他の事業をすることで、ICT関連の予算を削ることなく、予算編成を行っていただければ有り難い。

茶谷市長

- ・地域によってネット環境が悪いところがあると聞いているので、まずは環境を改善するところから始めていきたい。
- ・今の子どもたちはスマホやパソコンが身近にあり、それに対応できる能力がある。そういう中で、子どもたちが世の中のICT化の流れについていけるように取り組んでいきたい。

大森委員

- ・市民のロイヤリティの低さを感じる。七尾のためにという気持ちを高めていくことが最終的には私たちの幸せに繋がるのではないかな。
- ・祭りは文化であり、文化無きところに産業無し、産業無きところに人育たず。やはり、ロイヤリティをどう高めていくか。
- ・ICTを使って何をするのか、体育協会の体制強化をすることによって何ができるのか。教職員の多忙化により部活動が学校から離れていく現状をサポートできるような取り組みを考えていかなければならないのではないかな。一歩進んだものがあるのかどうか、それがロイヤリティだと私は思う。
- ・七尾城跡の活用についても、石動山との関係はどうだったかなど、点ではなく線で結んでいけば、面白いことがたくさんできるのではないかなと思う。
- ・歴史と伝統がある中世北陸最大の都市である七尾を活かしてほしい。

茶谷市長

- ・それぞれ、点では色々と頑張っているが、線として結びつけることで幅が広がっていくと感じている。歴史文化に関しても、もっと掘り下げていく必要があるのではないかと実感している。それを少しでも形にできるようにしていきたいと考えている。

黒崎教育長

- ・教育大綱の基本理念をどのように実現していくのかを考えた時に、教育委員会が抱える様々な課題の裏返しだが、ある意味方針に繋がっていくのかなと感じる。
- ・AIの登場により、予測不能な未来社会が訪れると考えられる。そういう中で、困難に立ち向かって乗り越えようとする力を身に着けた子どもたちを育てていきたい。そのために、人材づくり、連携づくり、学校づくりを掲げている。
- ・学校現場では、大量退職、大量採用について、危機感が迫っており、繋ぎの人材が非常に少ない。そういった中で、七尾市全体で人材を育てていく取り組みを校長会がイニシアティブをとって行っている。
- ・連携については、コロナ禍の影響でなかなか取り組みができていなかったが、10月あたりから少しずつ取り組みができるようになってきた。幼保園の先生

方に小学校に出向いてもらい、子どもたちの様子を見てもらうことで、各園での保育教育に活かすことができている、成果があると感じている。

- ・学校づくりについては、働き方改革が進んでいる。仕事の配分については、今まで能力のある先生に偏り過ぎだった面もあるが、できるだけ平準化するようにしている。また、ICTは目的ではなく、あくまでツールという形であり、どのように活用していけるかを教育委員会がイニシアティブをとって考えていかなければいけないと思っている。

- ・何をもって、七尾で育って良かった、七尾で育てて良かったという、教育の形を作り上げていきたいと思っている。

茶谷市長

- ・人材不足、働き方改革の部分でICTをうまく利用できればいいと思う。

- ・学力だけではなく、生きていく知恵を付けていくには、学校だけではなく、祖父母や近所の方などとの繋がりから学ぶことも多い。マニュアル人間ではなく、心豊かな子どもたちを育てていきたい。世の中がすごいスピードで回っていく中でも、順応できる子どもたちをこの地域で育てていければと思う。

播摩委員

- ・七尾の観光について、もっと宣伝をしなければいけない。

- ・市の職員についても、もっと色々な地域に入り研修をするなど力を付けてほしいと思う。今までそのようなことはあったのか。

白田総務部長

- ・今まではそのような取り組みはない。地域に出向くことが多い部署や内部で事務をすることが多い部署もあり、それぞれに担当業務を持っている。

播摩委員

- ・事務的な処理だけでは、観光的な発展はできない。市の職員が出て一生懸命やっからこそ、観光地が発展すると思う。

- ・七尾市の人口は減る一方なので、観光地で働ける人を増やすなど、そのような取り組みをしてほしい。

大森委員

- ・人口が減るのは仕方がないかもしれないというところで、ロイヤリティをどのように高めるのかという施策を考えていかなければならない。先々のことを教育委員会が考えた方が良くはないかなと思う。

播摩委員

・竹田城跡に行ってきたが、大きな駐車場が整備されており、土産物屋もある。そこからマイクロバスで上の方に向かう。

茶谷市長

・私も何度か竹田城跡に行き、七尾でも何かできないかと考えていた。例えば、里山里海ミュージアムに車を停めて、そこからシャトルバスで七尾城跡に行くなど。

播摩委員

・里山里海ミュージアム前の広場についても、何か活用すれば良いと言う人もいる。

茶谷市長

・里山里海ミュージアムについては、賛否両論あると思うが、ここに来れば七尾や能登の様々な情報を知ることができる。七尾ICから降りてすぐのところにるので、車で来た人はまずここに寄って情報を得て、観光していただければと思う。

・七尾には良いものがたくさんあるが、七尾＝これというものをPRして発信できれば、集客に繋がると感じている。

石川委員

・七尾のキャッチフレーズ、主だったものといってもピンとこない。
・七尾中学校の駅伝が強いことに便乗して、畠山文化と駅伝のまちなど、何かキャッチフレーズを持てば知名度が上がるかもしれない。

黒崎教育長

・コロナ禍で子どもたちの教育活動がかなり制限されている中、こういう機会だからこそ、子どもたちが自主的に企画運営するような取り組みを行ってほしいと校長会で投げかけたところ、修学旅行などの代替活動として七尾城跡への登山が企画されるなど、七尾城跡について学ぶ機会を得ることができた。その中で、半分以上の子どもたちが初めて本丸に行ったという事実を知り、大変驚いた。コロナ禍ではあるが、七尾を学ぶ機会に繋がって良かった。

茶谷市長

- ・コロナ禍で学校行事についても色々制限がある中で、やらないという選択は楽だが、なんとか子どもたちに思い出を与えてあげられるよう、知恵を出しながら取り組んでいけたらと思う。
- ・また、この会に限らず、何かご意見がありましたら、気軽にお声掛けいただければと思う。
- ・今後、よりよい方向にいけるよう、しっかり整理していきたい。

3 閉会

新野次長兼企画財政課長

これもちまして、令和2年度第1回総合教育会議を閉会いたします。